

経営比較分析表

山形県 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合（事業会計分）

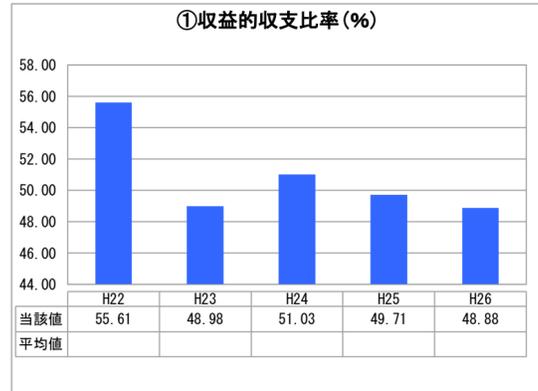
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	4.43	90.91

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,124	0.53	2,120.75

1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
3,240

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
[] 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



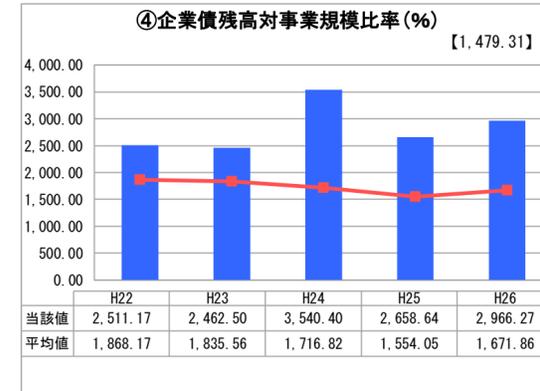
「単年度の収支」



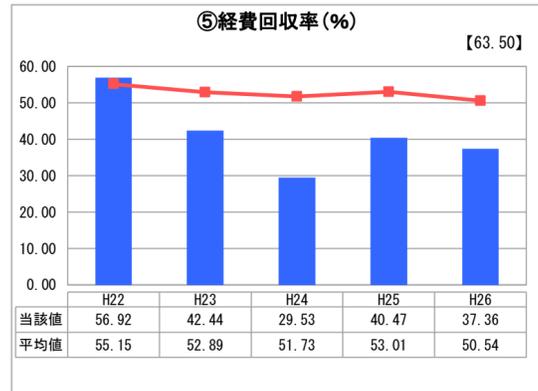
「累積欠損」



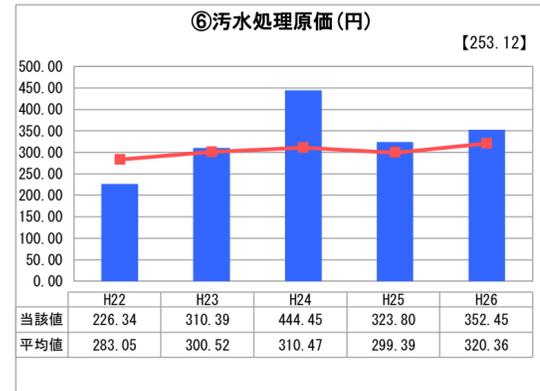
「支払能力」



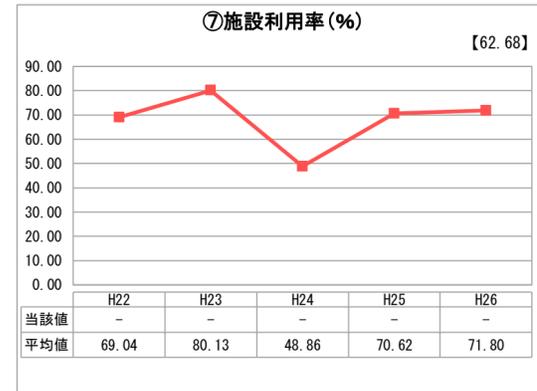
「債務残高」



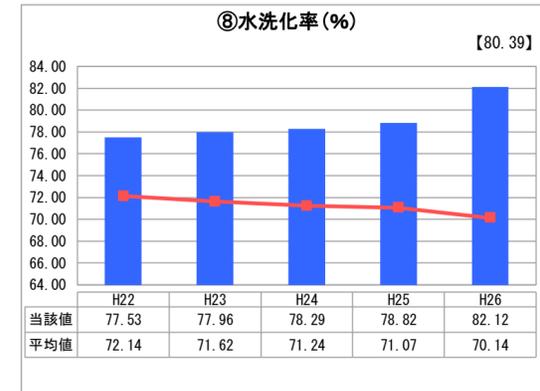
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

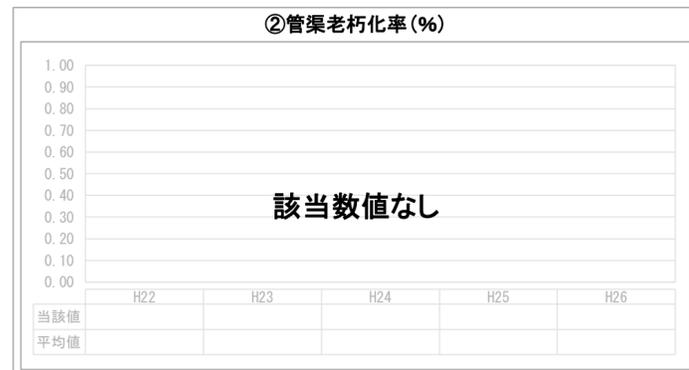


「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費を回収しきれずに繰入金に依存している状況にある。特に銀山処理区の収支が問題である。今後の老朽化対策を見据えた場合、経費縮減と合わせて適正な料金への改定が求められる。水洗化率においては、受益者負担金軽減措置等が功を奏して類似団体と比較して順当な伸びを見せている。

2. 老朽化の状況について

供用開始から14年（田沢処理区）、13年（銀山処理区）経過している。定期的な管路点検を行っているが管渠の更新の実績はない。圧力式下水道を採用している銀山処理区においてもグラインデーポンプ等の修理の実績がある。

全体総括

比較的に後発な事業体であることから、マンホールポンプ等を除いて老朽化の問題が顕在化していない。しかし、現在の経営状況では更新事業に耐え得る体力がない。更なる水洗化率の向上と、適正な料金への改定が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。